拓務省職員錄

昭和七年四月十日現在

14.1
135

14.1
135

81W24891

目錄

拓務省官制……一
拓務省分課規程……四
移民收容所官制……九
親任勅任文官年俸表……一〇
奏任文官年俸表……一一
判任文官月俸表……一二
外國駐在拓務省官吏加俸令……一三
大臣……一五
政務次官……一五
次官……一五
參與官……一五
大臣官房……一六

秘書課……一七
文書課……一八
會計課……二一
朝鮮部……二五
第一課……二六
第二課……二七
管理局……二九
第一課……二九
第二課……三一
殖産局……三四
第一課……三四
第二課……三八
拓務局……四〇
第一課……四二
第二課……四四
第三課……四七
外國駐在職員……五〇
移民收容所……五二

（印刷中ニ於ケル主要ナル事項ハ便宜更訂セリ）

◎拓務省官制

昭和四年六月十日
勅令第百五十二號

第一條　拓務大臣ハ朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ニ關スル事務ヲ統理シ南滿洲鐵道株式會社及東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

拓務大臣ハ海外事項ニ關スルモノヲ除クノ外移植民ニ關スル事務及海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事務ヲ管理ス

拓務大臣ハ前項ノ事務ニ付外務大臣ヲ經由シ領事官ヲ指揮監督ス

第二條　拓務省ニ左ノ一部及三局ヲ置ク

朝鮮部
管理局
殖産局
拓務局

第三條　朝鮮部ニ於テハ朝鮮總督府ニ關スル事務ヲ掌ル

第四條　朝鮮部ニ部長ヲ置ク拓務次官ヲ以テ之ニ充ツ拓務大臣ノ命ヲ承ケ部務ヲ掌理ス

第五條　管理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ニ關スル事務

二　拓務大臣ノ定ムル地域ニ於ケル移植民ノ保護指導ニ關スル事務

第六條　殖產局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ產業交通、通信、金融、租稅及專賣ニ關スル事務

二　南滿洲鐵道株式會社及東洋拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事務

三　拓務大臣ノ定ムル地域ニ於ケル海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事務

第七條　拓務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外移植民ニ關スル事務

二　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事務

第八條　拓務書記官ハ專任十五人ヲ以テ定員トス

第九條　拓務省ニ事務官專任九人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十條　拓務省ニ技師專任十三人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十一條　拓務省ニ理事官專任三人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第十二條　拓務省ニ通譯官專任四人ヲ置ク奏任トス上官ノ命ヲ承ケ通譯ヲ掌ル

第十三條　拓務屬ハ專任八十二人ヲ以テ定員トス

第十四條　拓務省ニ技手專任三十人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十五條　拓務省ニ通譯生專任十二人ヲ置ク判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ通譯ニ從事ス

第十六條　第十條及第十四條ノ職員ハ之ヲ外國ニ駐在セシメ帝國領事官附ヲ命ズルコトヲ得

◎拓務省分課規程

第一條　大臣官房ニ秘書課、文書課及會計課ヲ置ク

第二條　秘書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　機密ニ關スル事項

二　官吏ノ進退身分ニ關スル事項

三　敍位敍勳及褒賞ニ關スル事項

四　儀式典禮ニ關スル事項

五　大臣、次官ノ官印及省印ノ管守ニ關スル事項

第三條　文書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　文書ノ接受、配付、發送、編纂及保存ニ關スル事項

二　各部局課成案文書ノ進達ニ關スル事項

三　統計ノ編纂及報告ニ關スル事項

四　圖書及印刷物ニ關スル事項

五　翻譯ニ關スル事項

六　官報揭載ニ關スル事項

七　拓務ニ關スル資料ノ一般的調査及情報蒐集ニ關スル事項

八　宿直ニ關スル事項

九　他部局課ノ主管ニ屬セザル事項

第四條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　一般會計及所管特別會計ノ豫算決算ニ關スル事項

二　經理ニ關スル事項

三　國有財產及物品ニ關スル事項

四　會計ノ監查ニ關スル事項

五　營繕ニ關スル事項

六　備人ニ關スル事項

七　廳中取締ニ關スル事項

第五條　朝鮮部ニ於テハ朝鮮總督府ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條　朝鮮部ニ第一課及第二課ヲ置ク

第七條　第一課ニ於テハ他課ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外朝鮮總督府ニ關スル事務ヲ掌ル

第八條　第二課ニ於テハ朝鮮總督府ノ產業、交通、

通信、金融、租稅及專賣ニ關スル事務ヲ掌ル

第九條　管理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ニ關スル事項

二　別ニ定ムル地域ニ於ケル移植民ノ保護指導ニ關スル事項

第十條　管理局ニ第一課及第二課ヲ置ク

第十一條　第一課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外臺灣總督府及南洋廳ニ關スル事項

二　別ニ定ムル地域ニ於ケル移植民ノ保護指導ニ關スル事項

第十二條　第二課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外關東廳及樺太廳ニ關スル事項

二　別ニ定ムル地域ニ於ケル移植民ノ保護指導ニ關スル事項

第十三條　殖產局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ產業交通、通信、金融、租稅及專賣ニ關スル事項

二　南滿洲鐵道株式會社及東洋拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事項

三　別ニ定ムル地域ニ於ケル海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事項

第十四條　殖產局ニ第一課及第二課ヲ置ク

第十五條　第一課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ產業及金融ニ關スル事項

二　東洋拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事項

三　別ニ定ムル地域ニ於ケル海外拓殖事業ニシテ產業及金融ニ關スルモノノ指導奬勵ニ關スル事項

第十六條　第二課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳ノ交通通信、租稅及專賣ニ關スル事項

二　南滿洲鐵道株式會社ノ業務ノ監督ニ關スル事

項

三　他課ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外別ニ定ムル地域ニ於ケル海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事項

第十七條　拓務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外移植民ニ關スル事項

二　他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事項

第十八條　拓務局ニ第一課、第二課及第三課ヲ置ク

第十九條　第一課ニ於テハ移植民ノ奬勵ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十條　第二課ニ於テハ他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外移植民ノ保護指導及移民收容所ニ關スル事務ヲ掌ル

第二十一條　第三課ニ於テハ他局ノ主管ニ屬スルモノヲ除クノ外海外拓殖事業ノ指導奬勵ニ關スル事務ヲ掌ル、

◎移民收容所官制

昭和二年七月十四日
勅令第二百二十九號

第一條　移民收容所ハ拓務大臣ノ管理ニ屬シ拓務大臣ノ指定シタル海外移民ノ收容ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條　移民收容所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長	專任	一人	奏任
醫官	專任	一人	奏任
屬	專任	三人	判任
醫官補	專任	三人	判任

第三條　所長ハ醫官ヲ以テ之ニ充ツ拓務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第四條　醫官及醫官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ收容者ノ衛生及診療ニ從事ス

第五條　屬ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

◎親任、勅任文官年俸表

各省大臣	六、八〇〇円
各省政務次官 各省次官	五、八〇〇
各省參與官 各省局長	四、六五〇

◎奏任文官年俸表

級俸	（三等乃至七等）秘書官、書記官、事務官、技師	（四等乃至八等）理事官、通譯官、移民收容所醫官
一級	四、〇五〇円	三、四〇〇円
二級	三、六六〇	三、〇五〇
三級	三、四〇〇	二、七七〇
四級	三、〇五〇	二、四二〇
五級	二、七七〇	二、一五〇
六級	二、四二〇	一、八二〇
七級	二、一五〇	一、六五〇
八級	一、八二〇	一、四七〇
九級	一、六五〇	一、三〇〇
十級	一、四七〇	一、一三〇
十一級	一、三〇〇	一、〇五〇
十二級	一、一三〇	—

◎判任文官月俸表

級俸	月額
特別俸一級	一八〇円
一級	一四五
二級	一二五
三級	一一〇
四級	九五
五級	八五
六級	七五
七級	六五
八級	五五
九級	五〇
十級	四五
十一級	四〇

備考 一 改正俸給令施行ノ際現ニ左表上欄ノ俸給ヲ受クル者ハ一級一四八圓、二級一二七圓、三級一一〇圓四級九七圓トス

二 月俸七拾五圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス支給スルコトヲ得

◎外國駐在拓務省官吏加俸令

昭和四年十二月二十八日
勅令第三百九十四號

第一條　外國ニ駐在スル拓務省官吏ニハ本令ニ依リ在勤加俸及妻加俸ヲ給ス

第二條　在勤加俸ノ年額ハ別表ニ依ル

妻加俸ノ年額ハアメリカニ於テハ在勤加俸年額ノ十分ノ四、其ノ他ノ地方ニ於テハ在勤加俸年額ノ十分ノ三ニ相當スル金額トス

第三條　在勤加俸及妻加俸ノ支給ニ關スル細則ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

別表

官名 ＼ 駐在地	拓務技師 高等官四等以上	高等官五等	高等官六等	高等官七等
シンガポール	四、三五〇円	三、九五〇円	三、六五〇円	三、四〇〇円
バタビヤ	四、三五〇	三、九五〇	三、六五〇	三、四〇〇
メキシコ	六、二〇〇	五、六〇〇	五、二〇〇	四、八〇〇
リマ	六、二〇〇	五、六〇〇	五、二〇〇	四、八〇〇
サンパウロ	六、二〇〇	五、六〇〇	五、二〇〇	四、八〇〇
ブエノスアイレス	七、四五〇	六、七五〇	六、二五〇	五、八〇〇

官名 ＼ 駐在地	拓務技手 特別俸一級俸	二級俸三級俸四級俸	五級俸六級俸七級俸	八級俸以下
シンガポール	三、四〇〇円	二、八〇〇円	二、四〇〇円	二、一〇〇円
バタビヤ	三、四〇〇	二、八〇〇	二、四〇〇	二、一〇〇
メキシコ	四、八〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇
リマ	四、八〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇
サンパウロ	四、八〇〇	四、〇〇〇	三、五〇〇	三、〇〇〇
ブエノスアイレス	五、八〇〇	四、八〇〇	四、三〇〇	三、八〇〇

拓務省

東京市麹町區西日比谷
電話交換（自銀五、一三一至銀五、一三九）
宿直（銀五、一三一・五、一六一）

大臣　従三勲二　秦　豊助
官舎　麹、裏霞一（銀三、一二一・三一三・三一四）
私宅　四谷、内藤一（四谷　八）

政務次官
一等　正五勲四　加藤久米四郎
芝、白金猿三二（高四、八二五）

次官
一等　普通試験委員長　文官普通懲戒委員長　正四勲三　堀切善次郎
小、高田老松二七（牛五、八六五）

参與官
二等　正五　牧野賤男
豊多、澁谷、鉢山三（青二、六三三）

◎大臣官房

秘書官

三等（兼）　拓務書記官　高山三平

三等一級　從五　東條貞
豊多、澁谷、宇田川一六
（青五、〇二八）

書記官

三等一級　從五勳六　永井四郎
本郷、東片一四五
（小六、一〇四）

三等（兼）　外務書記官　坂本龍起
麹、元園一ノ三四

囑託

月一八〇　鈴木鷹信
四谷、内藤一
（四谷　八）

月一〇〇　正八　眞砂久雄
北豊、板橋、中丸一五九

月　八〇　吉原一三
豊多、戸塚、源兵衛八

月　八〇　佐藤隆三
豊多、杉並、阿佐ケ谷八四二

無手當　大關敬三
荏、世田ケ谷、經堂八八四

無手當　末廣德繼
北豊、瀧野川、田端四五
（小一、二一〇）

○秘書課（銀五、一六二）

書記官

三等一級　課長、普通試驗委員
文官普通懲戒委員
從五勳六　高山三平
本郷、駒込、林一八一
（小四、四一五）

屬

二級　普通試驗書記、文官
普通懲戒委員會書記
從六勳六　上田昌之助
北豊、瀧野川、瀧野川五〇二

四級　勳七　村重文一
荏、荏原、中延六九八
（呼出、荏三、九三二）

四級　普通試驗書記、文官
普通懲戒委員會書記　池上隆一
埼玉、浦和二、五七七

月 七〇　山田孝雄　豊多、和田堀、和田三一三

月 六〇　稻田俊太郎　豊多、野方、上沼袋二五二

雇

月 五五　根本勝三郎　北豊、瀧野川、谷津一、七三

月 五二　鶴田新藏　豊多、澁谷、青葉一八

月 四二　中村フサ子　荏、荏原、下蛇窪二一七

月 三一　吉川幸雄　荏、目黒、上目黒一、九六八　稻田方

寫字生

日 七三　石川正二　南葛、寺島五ノ七七

○文書課（銀五、一六三）

書記官

三等一級　棟居俊一　課長、普通試驗委員　文官普通懲戒委員　從五勳六　芝、二本榎西、三（高四、五一一）

事務官

六等八級　正七　高橋敏雄　荏、目黒、下目黒九六六

屬　兼　内閣統計官補　寺田孝一　豊多、澁谷、氷川五六

五級　伊藤正策　本所、向島三ノ一ノ一

六級　金井溫治　赤、丹後一三

月 七〇　小久保虎男　赤、丹後二

七級　鈴木太郎七　淺、淺三六

月 六〇　大關增博　拓務省構内官舍

月 五七　青木寅雄　小、關口四八

雇

月 六〇　五明英夫　本鄉、菊八坂二（小四、七七一）　信盛館

月五五　若代辰夫　荏、目黒、下目黒四六八
月五二　安川静子　小、駕籠二四六
月四七　尾崎壽枝　京、月島、二號地一〇ノ九　山田方
月四五　齋藤博　豊多、落合、上落合七九四　杉本方
月四五　吉田徳太郎　荏、世田ヶ谷、代田奎三ノ一　望月方
月四〇　藤井滿子　芝、三田四國一ノ一　富永方
月三五　中野君子　深、本村、九七
月三二　田中一三　麹、平河一ノ七　大和館
月二八　酒本武雄　荏、大井、立會四一八

寫字生

日七〇　小林正太郎　下、上野、二ノ三
囑託
月七五　勳七　庵崎俊雄　荏、目黒、中目黒一、四七一
無手當　從四勳四　吉村源太郎　牛、矢來二一八（牛二、〇六六）
無手當　內閣統計官　中川友長　四谷、三光二〇（四谷四、〇六一）

○會計課（銀五、〇二四、一六四）

書記官
四等三級　課長、普通試驗委員、文官普通懲戒委員正六　杉田芳郎　荏、馬込、北千束四四一（高四、一一五）

事務官
五等八級　從六　森本節躬　北豊、高田雜司ヶ谷、上リ屋敷三、五八四

雇　森重干夫

兼　山越道三

屬

兼　專賣局書記　勳八　菊池鉄次

五級　大森三之助
　　荏、玉川、奥澤本村一一八

五級　加藤陸郎
　　豊多、中野、本町通四ノ四〇

五級　鈴木邦恭
　　牛、原三ノ二三

五級　上田證十郎
　　荏、蒲田、北蒲田六二七

五級　欠戸明
　　豊多、高井戸、大宮前三三五

五級　宇留野哲三
　　荏、駒澤、下馬二五四

六級　東忠二朗
　　豊多、杉並、高圓寺四〇四

六級　岡部檀
　　豊多、澁谷、向山一〇三

月七〇　築田留吉
　　豊多、野方、上沼袋二八四

七級　笹川清次
　　小、水道端一ノ七

月六〇　田村鶴三
　　荏、蒲田、新宿六四二
　　出村ハウス内

月六〇　野呂瀬常太郎
　　本郷、駒込、蓬萊四八

技手
六級　北武一
　　横濱、保土ケ谷區、神戸上
　　八六九

雇

月六〇　加藤良一
　　四谷、愛住七三

月六〇　松井武男
　　豊多、淀橋、角筈八七九
　　最首方

月六〇　和泉俊作
　　豊多、中野、上町四四

月六〇　佐藤豊三
　　麹、富士見六ノ一〇

月五七　岩崎亭司　北豊、日暮里、金杉アパート八五號

月五七　正田宗五郎　深、永代二ノ八ノ二

月五五　日下精　豊多、戸塚、下戸塚五二五

月五二　河野渉　北豊、瀧野川、田端一、六七

月五〇　平野武嗣　豊多、千駄ヶ谷九〇五中山方

月四七　齋藤徳一　牛、余丁七三

月四七　富田勇　北豊、巣鴨二ノ五一

月四五　横澤てる子　横濱、神奈川區、神奈川、鳥越八

月四五　秋山金作　埼玉、北足立、平方、上野本郷一四六（武州平方二五）

月四二　日下きよ子　横濱、神奈川區、神奈川二ッ谷二四

月四〇　竹田良男　麻、飯倉四ノ六

月三五　藤澤憲郎　荏、碑衾、碑文谷一七〇

月三五　中野五郎　京、月島、西河岸通二ノ三安藤方

月三三　竹端節　荏、荏原、中延三三二

寫字生　大須賀正行　北豊、王子、上ノ原一、〇七

日七九

◎朝鮮部（銀五、一六八）

部長　拓務次官　堀切善次郎

書記官　兼　小河正儀

技師　矢島慧
兼

兼　中村昌藏

通譯官　尾田滿　從五勳四
三等三級
鎌倉、中和田、中田一、三六一（戸塚四三）

○第一課

書記官　今吉敏雄　課長、普通試驗委員、文官普通懲戒委員
四等五級　正六
荏、世田ヶ谷、下北澤八四七

屬　下城義三郎
四級
北多、武藏野、吉祥寺二、八七一

本玄二
五級
北豊、岩淵、稻付一、〇四八

坂多武夫
兼

本

七級　岩崎正夫
豊多、和田堀、堀ノ内一三一

雇　藤本第一郎
月五二
麻、廣尾七九

田邊平馬
月五二
麹、平河一ノ七　大和館

間宮雪雄
月四五
豊多、野方、下沼袋九二〇

北里ヨシエ
月四二
豊多、千駄ヶ谷、原宿二〇九　末永方

佐田芳子
月四二
牛、原三ノ七六

小野正明
月四〇
本郷、弓二ノ三

山形健次郎
月三七
豊多、和田堀、和泉三三

○第二課

書記官

三等二級　課長　従五　宮島保衞
荏、入新井、木原山一、六三
（大森三、八五八）

屬
六級　本多武夫
麹、麹、八ノ一　新井方

七級　大崎新
荏、品川、北品川二二八

月六〇　鳥居源二
北豊、西巣鴨、池袋九七一

月六〇　相良重彦
荏、荏原、中延九七二

雇
月六五　長谷川喜作
北豊、岩淵、稻付五六三

月四五　矢野英夫
日、濱、五一　開田方

月三三　瀨下靜子
麻、永坂三一　鈴木方

月二九　青木正二
本所、向島押上、一五五

◎管理局（銀五、一六五）

局長　従四勳三　生駒高常
一等　荏、玉川、奥澤五九七
（高八、二八四）

通譯官　兼　尾田滿

囑託　尾田滿
月一〇〇　寺島善八
北多、上保谷、長者園

○第一課

書記官　従五　笹川恭三郎
三等三級　課長　牛、市ケ谷、仲之一五
（牛三、三二九）

事務官　従五　渡邊廣
三等四級　荏、池上、久ケ原六八〇

技師

五等七級　從六　三浦磐雄　鎌倉、大町二、二六九
屬
四級　福田榮一　荏、玉川、奥澤六〇七
五級　青木熊夫　荏、大森、新井宿一、八五九
五級　井手瑞穗　麻、笄一一二
六級　伊原安固　千葉、船橋、九日市一、五九
月七〇　宇野末次郎　豊多、代々幡、代々木富ケ谷一、四五九（四谷三〇一）
月七〇　正五　池田政鋹　赤、青山、南二ノ四三（青一、一七一）
技手兼
雇
月六〇　山田武彦
島澤治郎　北豊、西巣鴨、池袋九〇一

月六〇　橫田清　麻、笄一〇三
月五八　小林定義　橫濱、中區、南太田二、三〇三
月四八　成井千代　本郷、本郷二ノ二七　中村方
月四七　小島清市　荏、荏原、戸越九三　齋藤方
月四二　森千代　荏、世田ケ谷、池尻五二七
月三七　永田清實　牛、四五軒三四　紫明館
月三五　曾根原實　豊多、野方、上沼袋二六九

○第二課

書記官
三等二級　課長　正五勳六　小河正儀　牛、仲三二（牛四、一三〇）

事務官

五等七級　從六　森　重　干　夫　豊多、井荻、上荻窪二九三
技師兼　三　浦　磐　雄
屬
兼　青　木　熊　夫
六級　上　野　武　夫　豊多、澁谷、若木三
六級　麻　生　憲　治　豊多、戸塚、上戸塚七六五
六級　鈴　木　藤　次　郎　豊多、落合、下落合八四
兼　池　田　政　鎭
七級　豊　島　晴　利　北豊、巣鴨、宮下一、六九三
七級　伊　藤　東　鄕　豊多、杉並、馬橋四三七
月六〇　花　石　市　太　郎　淺、阿部川四五
技手

六級　山　田　武　彦　本鄕、眞砂（小五、六四〇）清和寮
通譯生
五級　動七　荒　基　四谷、鹽三ノ四三
雇
月七〇　沖　鳴　三　本鄕、森川、一〇四　本鄕館
月五〇　吉　池　重　爲　北豊、西巣鴨、池袋六六二
月四五　近　藤　浩　本所、林三ノ四二　天生方
月四二　南　日　久　直　下、稻荷一九　同潤會アパート
月四二　春　原　靜　江　北豊、瀧野川、西ケ原九七四
月三二　植　村　こ　う　埼玉、北足立、草加住吉七
月二八　瀨　戸　一　郎　豊多、和田堀、和泉九八

◎殖産局（銀五、一六六）

局長
二等　南滿洲鐵道株式會社監理官　東洋拓殖株式會社監理官　正五勳五　北島謙次郎　荏、大井、林附三三四（高四、一六〇）

○第一課

書記官
三等三級　課長、普通試驗委員　文官普通懲戒委員　從五　稻垣征夫　豐多、杉並、天沼三七七（荻窪一、五六四）

事務官
四等四級　正六　宮木廣大　北豐、王子一、〇五七（王子四一五）

兼　技師
三等三級　從五勳六　山越道三

兼　矢島慧　豐多、千駄ヶ谷四五〇

三等三級　從五勳五　中村昌藏　豐多、中野、城山三〇

三等（兼）　農林技師　宮田彌治郎　北豐、瀧野川、田端一二六

兼　井上豐

兼　割田勝三

理事官
七等八級　從七　小野久七　豐多、中野、本町通五ノ二〇

屬
四級　小川小次郎　北豐、岩淵、稻付五八五

兼　岩月源一郎

六級　富永謙　荏、世田谷ヶ、代田東大原一、一二七

六級　高橋進太郎　神奈川、川崎、京一ノ七〇

七級　笹本貢　北豐、王子、上十條一、三九

七級　従五　野村親共　四谷、東信濃一〇（四谷四〇一）

月六〇　丁野隆景　豊多、中野、天神一九

月四七　玉木慶太郎　荏、荏原、小山四五　高橋方

技手　岩月源一郎

四級

六級　渡邊東雄　荏、目黒、上目黒三五二

六級　村上宗雄　北豊、高田雑司ヶ谷、金山三三九（牛一、五〇二）

六級　北川英夫　荏、目黒、上目黒一、五三四

六級　大谷信太郎

六級　二階堂榮二　小、大塚坂下四〇　高草方

六級　吉田道人　本郷、追分二〇　西濃館

月七〇　岸山義夫　小、駕籠八四（大塚二、〇二九）

雇

月六〇　金子政治呂　小、大塚仲、三吳號ノ一三　山内方

月六〇　新達十郎　北豊、日暮里、金杉一、七二　三ノ輪アパート三五號

月五五　田川義人　荏、目黒、上目黒二、二三四

月五五　正八　鈴木正彦　埼玉、北足立、新倉四、四二五

月五二　河崎潔　荏、荏原、西小山、本通五二　板倉方

月五二　辻専一　芝、西久保櫻川、二一　岩木屋方（芝八一二）

月四七　西田小枝子　北豊、西巣鴨、池袋大原一、三八〇

月 三五　末河ミサト　荏、荏原、中延三八八　阿部方

月 三五　市村昶　京、新富四ノ七　谷田方（京三、九三〇）

寫字生

日 七三　齋藤正次郎　淺、松葉二〇

○第二課

書記官

四等四級　課長　正六　副島勝　豊多、渋谷、景丘五四（青）

事務官

兼　宮木廣大

五等六級　從六　山越道三　豊多、代々木、西原九六七

技師

三等（兼）　專賣局技師　田中新吾　荏、目黒、下目黒、小瀧四九八ノ一九（高二、六四六）

三等（兼）　内務技師　谷口三郎　小、小日向臺、二ノ二九

兼　矢島慧

兼　中村昌藏

四等七級　正六　井上豊　荏、馬込、小宿一、〇九〇

兼　三浦磐雄

理事官

兼　小野久七

屬

三級　古川武二郎　南葛、吾嬬、東三ノ一

四級　中村渉　豊多、野方、上高田四五

五級　關口要藏　牛、南榎五六　關根方

六級　土光加壽男　芝、愛宕二ノ一　杉野方

七級　石田繁之助　荏、世田ヶ谷、下北澤五七六

雇

月五七　保科政右衛門　牛、南櫻五

月五七　高木秋一　荏、荏原、中延五〇〇

月五二　佐野武次　豊多、西大久保五一〇

月五二　石井恕　麻、櫻田四四　中井方

月五〇　馬場一郎　北豊、日暮里、日暮里四一

月四二　吉田廣次　麹、元園、二ノ九　依光方

月四二　福井美代子　豊多、淀橋、柏木三四七

月三〇　吉本千代子　北豊、瀧野川、瀧野川五二七

◎拓務局（銀五、一六七）

局長

一等　従四勲三　郡山智　荏、世田ヶ谷、世田ヶ谷一、一九九（青四四四）

書記官

三等三級　従五　一番ヶ瀬佳雄　荏、田園調布四一一（田園調布五一五）

囑託

月一八〇　大野基尚　豊多、大久保百人、三九〇

月一三八　従六　稲垣顕策　荏、大井、庚塚四、六八六

月一〇五　林龍　神、佐柄木一二　荒井方

月七〇　藤勝周平　北豊、王子、大門一、二九九

月七〇　伊勢田實　小、丸山三〇　佐藤方

月六〇　林田辰五　豊多、澁谷、金王八　松友館（青七、六二〇）

月 五五 佐分利靖 牛、南一〇（牛七〇〇）

無手當 從四勳三 石原忍 豊多、中野、本郷五〇八

無手當 從四勳五 岡田良一 小、駕籠二三八

○第一課

書記官

三等三級 課長、普通試驗委員 文官普通懲戒委員 從五 島田昌勢 北多、砧、喜多見九七〇（砧三三六）

事務官

四等七級 正六 武藤公平 荏、世田ヶ谷、經堂櫻木六六五

技師

兼 蘆澤安平

屬

三級 鳥海剛 豊多、野方、上沼袋九七

兼 田口管次郎

兼 加藤義明

四級 龜岡正貞 牛、榎一二

四級 砥上坦 荏、矢口、原六一八

五級 河合義雄 北豊、板橋、金井窪七四一

兼 菅野貞雄

六級 溝越禮敬 北豊、王子、下十條九〇二

休職

屬

五級 齋藤元藏 山梨、西八代、豊和、黑澤

技手

月 七〇 大村信夫 豊多、澁谷、神泉四

通譯生

八級　村田五郎　芝、西久保明船、一六　宮田方
雇　月六二　澁谷慶助　荏、大井、上蛇窪七二
月六〇　清成透　荏、目黒、上目黒二、二三一
月五七　平井正　豊多、千駄ヶ谷五二六
月五二　上西左平　神、表猿楽五　重田方
月四二　齋藤春子　荏、大森、澤田七二六
月三五　安東賢藏　荏、入新井、新井宿五二二　丸山方
月三五　積田二郎　豊多、澁谷、大和田三六　菊地方
月三二　山口茂枝　荏、大崎、谷山三九　井上方

○第二課

書記官

四等五級　武田寛一　課長、普通試驗委員　文官普通懲戒委員　正六　荏、世田ヶ谷、下北澤一一二（青五、〇二一五）

事務官

兼　武藤公平
兼　鳥海剛
三級　田口管次郎　正八　荏、世田ヶ谷、竹ノ上三、〇五六
兼　加藤義明
兼　霜崎清　内務屬　四谷、愛住四三
五級　南定　豊多、戸塚、上戸塚三一二　龍峯館
月七〇　菅野貞雄　北豊、日暮里渡邊、一、〇四〇
月六〇　大角忠春　豊多、落合、葛ヶ谷二四二

通譯生
兼
月七〇　杉浦鐵若

月七〇　富永秀三郎

月七〇　宇野忠夫
神奈川、金澤、寺前八一七

雇
月五二　南振祐
本郷、元二ノ六二　余川方

月五〇　小松崎義雄
北豊、巣鴨、上駒込八四七

月五〇　力村晃太郎
埼玉、浦和四三〇

月四五　都築直
麴、有樂、一ノ八

月四二　山川明里子
四谷、南伊賀一八

月四〇　村上二郎
下、谷中清水、一九　松田方

月三七　吉田糸子
南葛、寺島六ノ六〇

月三二　西川泰藏
荏、世田ヶ谷、竹ノ上一、二九二　宇田川方

○第三課

書記官
四等(兼)　課長　宮木廣大
北豊、王子一、〇五七(王子四一五)

技師
三等(兼)　農林技師　下田李一
荏、荏原、馬込原丸三、八八

三等(兼)　資源局技師　堀口益孝
赤、青山北六ノ四二

四等五級　正六　仁瓶平二
豊多、野方、下沼袋一五六

六等六級　正七　蘆澤安平
牛、戸山二

六等九級　正七　割田勝三
豊多、西大久保一二七

理事官
兼　小野久七

屬

兼　鳥海剛

兼　田口管次郎

三級　加藤義明
横濱、中區山手二六〇

六級　三浦陽
北豊、日暮里一七九

六級　塩谷末吉
下、谷中清水一九　松田方

七級　森威光
本郷、菊坂一六第二春秋館
（小五、九三七）

月　六〇　石川末雄
北豊、日暮里、金杉
アパート二ノ三四號

技手

四級　合屋正孝
荏、玉川、奥澤六一六

五級　内藤一雄
小、下富坂一〇

兼　渡邊東雄

兼　大村信夫

通譯生

五級　杉浦鐵若
豊多、和田堀、和泉三五六

月　七〇　正八　中島正男
下、上車坂五二

八級　岡田昭
豊多、淀橋、角筈一四四
（四谷一、二七七）

九級　佐立五十男
牛、辨天七四

休職

通譯生

月　四七　柿清吉
金澤、下堺五八
相川雪花堂内

雇

月　六〇　多田登
下、中根岸八一

月　五五　大沼健吉
北豊、瀧野川、中里四〇二
千葉方

月 五二　白鳥隆壽　荏、大崎、上大崎五三四

月 四七　木口浩一　麹、三番八五　八木方

月 四五　佐藤たへ　小、水道端二ノ一五

月 四五　長谷川奈哥　小、水道端一ノ三九

月 四五　伊藤三郎　芝、櫻川二四（芝三、三〇一）飯島方

月 四五　町田壽衛男　埼玉、大宮四、〇五四（大宮七〇七）

月 四五　多田芳雄　荏、大井三、一六〇（大森一、六八〇）原方

月 四〇　藤田君子　北豊、瀧野川、田端九七　野本方

◎外國駐在職員

技師

五等六級　サンパウロ駐在　從六　江越信胤

技手

月 七〇　シンガポール駐在　田村立義

七級　サンパウロ駐在　野村陸雄

七級　サンパウロ駐在　正八　青木林藏

七級　サンパウロ駐在　大野熊

七級　サンパウロ駐在　村上龍助

八級　サンパウロ駐在　北村豊治

八級　サンパウロ駐在　佐々木淳

囑託

年二、六七六　シンガポール駐在　堺理喜太

年二、三七六　ベーレン駐在　吉田梧郎

年二、〇〇〇 ダバオ駐在 正七 兒島字一
年一、八〇〇 ペーレン駐在 前田光世
年一、六五六 シンガポール駐在 照屋全昌
年一、六五六 メキシコ駐在 小林直太郎
年一、六五六 ブエノスアイレス駐在 内田千尋
年一、一六四 サンパウロ駐在 北村政吉
年 八四〇 メダン駐在 鮫島清彦
年 六六〇 ペルー駐在 中内浩
無手當 パトパ駐在 小田修
無手當 スマトラ駐在 岩田喜雄

◎移民收容所（神戸）

神戸市山本通三丁目
電話（葺合四、六六〇）

醫官
五等三級 所長心得 從六 長嶺昇
屬 兼 拓務屬 鳥海剛
四級 長尾武雄
月 六〇 太田勝三
九級 乾二郎
醫官補
三級 伊藤祐裕
囑託
月一三八 中島文重
月 三〇 原梅三郎
月 三〇 竹本武雄

昭和七年四月二十二日　印刷
昭和七年四月二十五日　發行

拓務大臣官房秘書課

東京市神田區旅籠町二ノ一二
印刷者　青田伊祐

東京市神田區旅籠町二ノ一二
印刷所　廣業館

東京市麹町區西日比谷町
發行所　拓務大臣官房秘書課

寄贈

衆議院
7.5.4
圖書館

9552
63

月二五　國吉美德
月二〇　山中巖彦

東京市 神田区 錦町三丁目二番地
株式会社 東京 堂
代表者 書 田 甲 子 郎

謹啓 時下ますます御清祥の段慶賀の至りに存じます
さて 弊社 創業 大正 五年 十月 二十三日
を以て 左記 場所に 移転 仕りました
何卒 従来 同様 御愛顧 賜りますよう
お願い 申し上げます
敬具
記
東京市 神田区 錦町三丁目二番地
電話 神田 二八一三番
東京市 神田区 錦町三丁目二番地
株式会社 東京 堂
代表者 書 田 甲 子 郎